






COLOR BESTE QUAD コロニアルクアッド【屋根】				
□CC262 ネオブラック	□CC241 ウォルナットブラウン	□CC221P ココナッツブラウン	□CC235P アイスシルバー	□CC247 アイリッシュグリーン
				

■外観GC



■施工イメージ (ネオブラック)



屋根材としての性能と、人と環境への配慮をひとつに。

そこに住む方、施工する方、そして地球環境にもやさしくあるために。
屋根材「コロニアルクアッド」は、天然パルプを使用し、原材料に石綿(アスベスト)は使用していません。
屋根材としての軽さと強さを磨きつつ、人と環境の調和を目指した、安全・安心の屋根材です。



コロニアルクアッドの「軽さ」と「強さ」は、独自の製法から生まれます。

コロニアルクアッドの製法は、一般的な平形スレート屋根材の製法に比べ、成形時に供給する水分が非常に少ない上、オートクレーブ養生(高温高圧蒸気養生)という工法が加えられており、基材の吸水率・含水率がきわめて低いのが特長です。化学的に緻密に結合させているため、高密度で均一な構造を実現します。



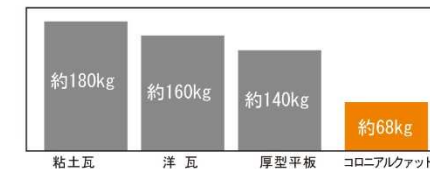
- 高密度で均一な構造だから ▶
- 吸水率が低いため、そり・あばれ・伸縮が極めて少ない。
 - 乾燥・湿潤の繰り返し、温度変化による影響を受けにくい。
 - 場所や地域などによる制約が少なく、安心して施工できる。
- ▶ 施工後30年以上経っても、安定した性能を発揮。

耐震性

粘土瓦の1/2以下の軽さで、地震の揺れを軽減します。

建物は重量が重いほど地震時の揺れが大きくなり、建物の重心が高ければ揺れはさらに増大します(同じ構造で同じ強度の場合)。コロニアルクアッドの坪あたりの重量は、粘土瓦の1/2以下。建物全体の重量が軽減できるとともに重心も低く抑えられ、建物に確かな安定感を生み出します。

■屋根材別「重さ」比較(kg/坪)



※一軒の家(屋根面積100㎡<約30坪>)で比較すると、粘土瓦はコロニアルクアッドに比べて、

乗用車約3台分以上の重量(約3.5t)

が余分にかかることになります。

地震に有効な「軽い屋根」のメカニズム。

建物の重量を軽く

地震のとき、重い建物ほど、地震の力を大きく受けます。屋根を軽くすること。それは、地震の際に建物にかかる力を小さくすることにつながります。



建物の重心を低く

地震のとき、重心が高い建物ほど、揺れは大きくなります。屋根を軽くすること。それは、建物の重心を低くし、揺れ幅を小さくすることにつながります。

